

第10回地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会



NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワーク 理念と取組

NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワーク 事務局長
理事

安達美和子
佐藤真由美

テーマに関する課題

- ①人間関係力の育成(コミュニケーション能力・耐性・礼儀等)
- ②現代的課題である不登校、いじめ、虐待等



課題を引き起こす背景

①家庭教育の課題

様々な理由による家庭の教育力の低下や、少子化・核家族化等による家庭教育機能が遅滞してきた。さらに保護者の多忙化による「心より物・金」という考え方もうかがえる。

②学校教育の課題

子どもの教育に関する過度の学校依存により教職員の多忙化が進んでいる。このことにより、教職員は子どもと向き合う時間が減少しているという大きな課題が明らかになってきた。にも関わらず、基礎学力や運動能力、人間関係力、コミュニケーション能力の育成・向上など広範囲の責任・仕事で疲弊の現状にある。

③地域社会の課題

地域住民の結びつきだけでなく子どもへの関わりも弱体化し、個が優先する社会になってきた。地域住民が子ども達へ注意・指導することもできにくくなった。まさに、地域の教育力の低下と崩壊の現状がうかがえる。

地域社会全体の連携による教育支援活動促進事業

< H 2 0 : 大分県教育委員会資料 >

学校教育で求める活動

地域社会で求める活動

学習活動支援

- 専門的指導者（授業でのゲストティチャー等）
- 学習活動サポーター（実技補助・校外引率等）
- 職場体験の受入（体験活動の場・受入先担当の明確化等）
- 各種教育活動支援（読み聞かせ・伝統芸能・特別支援等）

学校活性化支援

- 教職員の事務補助（図書館司書のサポート等）
- 学校ホームページ作成（更新等）
- 開かれた学校づくり（事業企画参加・学校評価等）

地域情報の提供

- 地域情報バンク（人材・教材・協力者等）
- 地域情報の連絡システム（危険情報・環境情報等）

安全・安心な環境作り

- 学校外での生活指導（地域での指導・長期休業中指導等）
- 学校外で安全指導（登下校の防犯・地域での声かけ等）
- 地域の安全環境（安全点検やマップ・環境整備等）

学校施設・環境整備

- 施設整備（花壇・飼育小屋等の補修・管理）
- 備品等の整備（道具・図書等）

学校が抱える課題対応

- 学校へのクレーム対応
- 給食費の未納対応

保護者同士のネットワーク

- 保護者の学校理解（話し合いの場等）
- 保護者の参画（学校行事への協力・広報等）

放課後・休業中の体験活動

- 放課後の学習支援（学校や図書館等）
- 地域での生活指導（挨拶運動・環境整備等）
- 長期休業中の指導（生活・プール指導等）
- 野外体験指導（キャンプ・スポーツ等）

クラブ・部活動支援

- 専門的指導者（部活動・クラブ活動）
- 活動支援（遠征の送迎・活動場所の提供等）

プロジェクトメンバー：公民館・学校・PTA・自治会・各種団体等

- ①団体・人材等のネットワーク化 ②活動支援のプラットフォーム
～人材等の教育資源のバンク化・情報のワンストップ化～

家庭への支援活動

- 親への学習機会の提供
親子参加行事支援



「コーディネートチーム」

—多くの地域住民が地域の子ども育てに参加するための3つの条件—

行政総体としての取り組み

- ①まず、行政が主導する
- ②まち作りの施策として実施する
- ③教育の基盤に置く
- ④官民一体の推進

一定エリアでの取り組みの統合

- ①住民の生活エリア(繋がり)
- ②エリア内のネットワーク化
- ③推進体制・組織づくり
- ④推進の拠点づくり

学校・家庭・住民への啓発

- ①日常的な情報収集と提供
- ②地域住民同士の関わりづくり
- ③推進上の課題への対応
- ④新しいプログラムの実施

～地域の大人が『出来る時・出来ること』に関わる心豊かなコミュニティ：「地域総参加で子育てのまちづくり」～

住民参加のプログラム開発

日常的な支援プログラム

広域的な支援システム

公民館学級生

自治会

地区老人クラブ

地区交通安全協会

育友会

地区商工会

各種組織



はじまりは

大分大学高等教育開発センター開催の研修事業

(基礎編)「協育」アドバイザー基礎研修

(中級編)「協育」アドバイザー専門研修

(上級編)「協育」アドバイザー実践研修

修了者のネットワーク化

子どもを地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じて、家庭・地域の教育力の向上を図る。
人材育成

対象者

学校や地域における各種コーディネーター、各種団体・グループ、NPO等の活動者、社会教育主事等、社会教育関係職員及び指導主事等学校教育関係職員、その他、趣旨に賛同し、職場及び地域等において受講したことを活用できる者 等



NPO法人設立に至るまで

平成20年11月

大分大学高等教育開発センターによる
「協育」アドバイザー養成講座開始

平成22年3月

大分県「協育」アドバイザーネット発足
基盤整備に着手

平成23年4月

具体的な事業活動計画・開始

平成23年9月

NPO申請

平成23年12月

NPO認証および設立登記

平成24年2月5日(日)

設立総会

未来を創る子どもたちのため、家庭・学校・地域社会の教育の協働を推進するNPOの立上

NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットは家庭、学校、社会が地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組むネットワークをつくり、子どもに関わることをとおして、大人社会の再構築の推進も行う「教育の協働(協育)」を推進する一翼を担い、大分県における「協育」のプラットホームとしての活動を進めます。



課題の解決策（立ち位置・役割）

子どもの力を育成
人間関係力の育成
不登校、いじめ等への対応



心身ともに健全な
子どもの育成

「協育」

家庭教育の課題

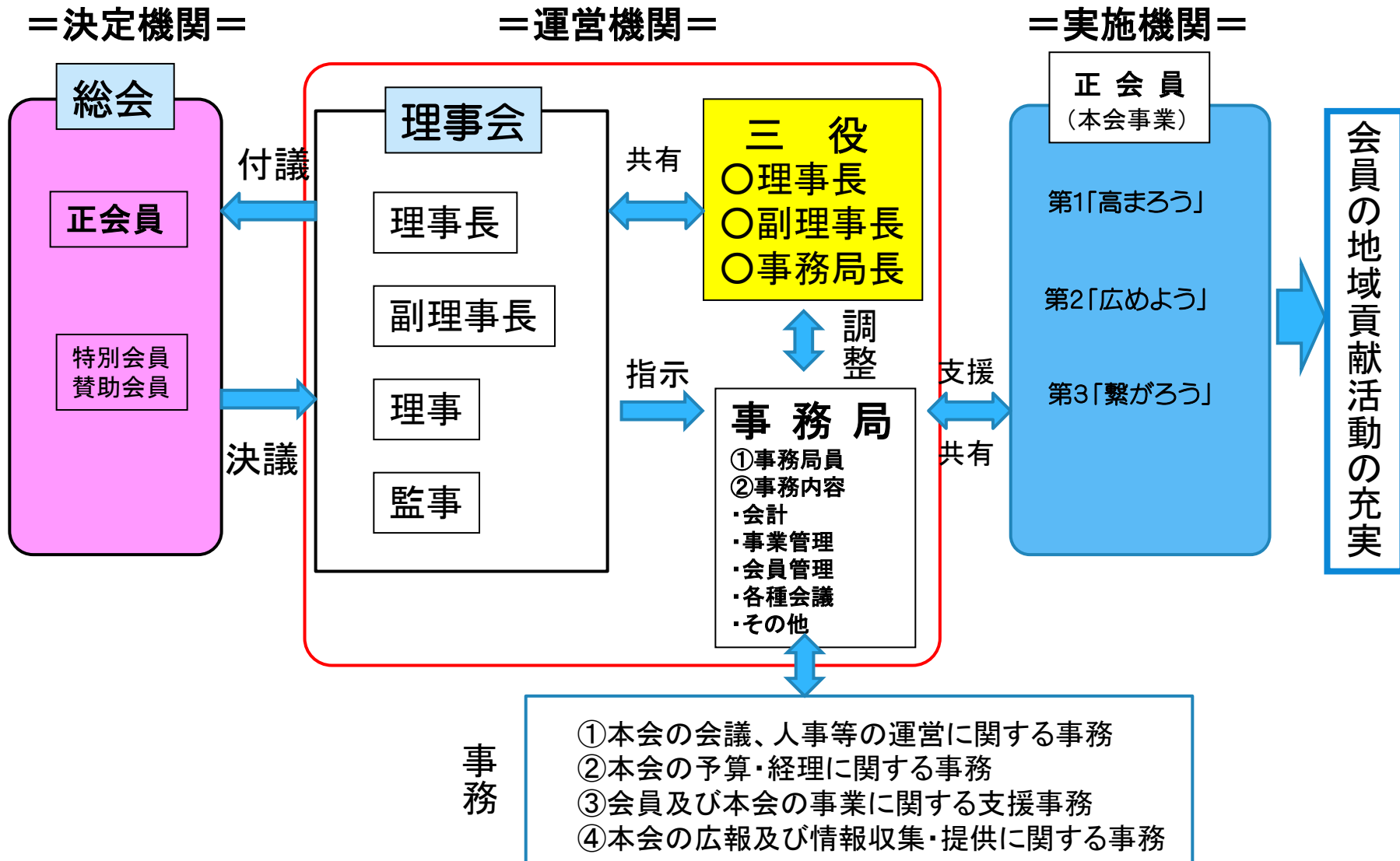
学校教育の課題

地域社会の課題

～NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットの役割～

- ①地域にある人的・物的・文化等の教育資源の掘り起こしと整理、及びネットワーク化を進める。
- ②教育の協働を進める中核としての人材であるコーディネーターの育成・支援、活動へのアドバイスなどを行う。
- ③地域で行われる子ども達への様々な活動の展開をモデル的に示すことや、人材・プログラム等の情報の提供・発信を行う。
- ④会員及び県内の指導者が地域で行う様々な実践活動への協力や、指導者相互の交流の場を設定する。

NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットの組織と活動の仕組み





課題解決のための仕組み（活動の柱・構造）

事務局（理事）で構想を練り、企画し、実施

スローガン（活動が目指すもの）

「高まろう」

「広めよう」

「繋がろう」

ステージ（フィールド）

- ・学校
- ・家庭
- ・地域

連携・協力

- ・県、市町村
- ・団体
- ・機関 等

声を掛け合える存在
ニーズへのアドバイス
（信頼関係:ありがとう）

活動主体の尊重
担当者の熱意や行動力
（協育の原点）

会員・県内の指導的立場の方々に参加要請

高まろう

広めよう

繋がろう

- 実践交流会の企画・運営
- 既存の交流会への参加促進、参画・共催
- 会員のステップアップ講座
- 出張指導者育成講座（講師の派遣）
- 指導者養成講座の実施

- 教育の協働のモデル的・研究的事業の実施
- 「協育」の啓発
- 会員の実践への協力・参加

- 情報収集・発信（ホームページ・会報等）
- 大分県「協育」ネットワーク協議会との連携
- 会員の活動の情報収集
- 他団体・教育委員会等の事業情報の収集

～事務局（理事）が、今、中心的にすべき役割～
「協育」の推進

(1) 会員の地域での活動状況の把握

- 計画的に会員訪問を行って情報を収集し、アドバイスするとともに、その活動を全会員や県内の指導者へ広報

(2) 市町村（行政や団体等）の取り組みの把握

- 組織や活動内容、実績等を把握し一体的な研究・情報提供

(1) 会員同士のネットワーク化

- 事務局と会員、会員同士が情報を共有することによって相互の連携協力、更に地域の仲間とのネットワーク化の推進

(2) 県・市町村教育委員会との連携、協力

- 「協育」に関する取り組みなどを整理し、県および市町村教委と連携した各種研修への参加、協力

仕組みづくりの特徴（活動理念）

1. 会員の活動の基本は次の3つである。

- ①会員の活動は、基本的にボランティアである。但し、必要に応じて報酬等を受けることはできる。
- ②各出身組織での活動の充実を目指すものである。
- ③教育の協働の推進を指導的、モデル的、先導的に行う組織である。

2. 会としての活動をする場合は、プロジェクト事業として規程に従って事業区分に分類して実施することとする。その際、次の事項を遵守することとする。

- ①会としての事業を行う場合は、様式に従って事業概要書を事務局へ提出し、理事会で協議の上、承認を得た後に行うこととし、会の実績とする。
但し、会の目的から鑑み、発展的な活動は会員自らの実績として拡充することを奨励する。
- ②会としての活動は、会の予算を活用し、会の実績として行う。
但し、会の目的から鑑み、発展的な活動は会員自らの実績として拡充することを奨励する。
- ③会としての活動は、会の方針に沿って行うこととし、会の実績とする。
但し、会の目的から鑑み、発展的な活動は会員自らの実績として拡充することを奨励する。

3. 理事会は本会の目的から鑑み、次の事項を遵守する。

- ①本会の目的は、教育の協働を推進するために民間の視点から地域貢献を行うことを基本にした運営を目指す組織である。
- ②本会は、会員の出身組織での活動の充実を支援する組織である。
- ③本会の活動は、教育の協働の推進を指導的、モデル的、先導的に行う事業を行う組織である。

4. 事務局は本会の目的から鑑み、次の事項に関する情報の収集・整理を行うと共に、事務的、予算的な支援、及び、活動の成果の普及を行う。

- ①本会の運営に関する提案、会議の運営、予算の確保と執行を行う。
- ②会員の出身組織での活動の充実を支援する。
- ③本会の各活動を充実するための支援を行う。
- ④本会の広報、活動情報の収集・提供、県内外のネットワーク化等の事業を行う。



具体的な事業

大分県委託事業

:「すき間支援」プロジェクト :幼児向けエコワークショップ事業

大分市補助事業

:育メン読み聞かせ講座事業

文科省委託事業

:学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証検証

:別府溝部学園短期大学委託の「成長分野等における中核的専門人材育成の戦略的推進事業」への参画

:別府市受託の「自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究事業」への参画

:別府市受託の「学習困難児童の放課後学習支援」への参画

:大分大学|高等教育開発センター受託の「学びによる地域活力活性プログラム普及・啓発事業」

「地域協育力コンファレンスINおおいた」への参画

子どもゆめ基金受託事業

:子どもふるさと体験学イン国東

大分大学学習ボランティア「フォーバル」の育成

○学生読み聞かせボランティア「ゆい」の育成

○人と本を結ぶ読書支援ネットワーク「ゆい」の立上、読書支援研修会・交流会開催

○学生ボランティア「コネクト」の育成

大分大学と共催で「協育」アドバイザー講座、企画運営

地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会への参画

1人1情報の発信運動の推進事業 :2ヶ月一度の会報発行

2ヶ月に一度の企画会議開催・理事会開催・総会(スキルアップ研修会開催)

大分大学高等教育開発センターの支援を受けながら「協育」の推進を行っています。



協育アドバイザー養成講座 上級編 山口県・佐賀県





協育アドバイザー養成講座 上級編 熊本県



文科省委託事業 学校と地域の新たな協働体制の構築 のための実証検証 「研修会」「ワールドカフェ」



文科省委託事業

自律的・組織的が学校運営体制の構築に向けた調査研究事業 CS導入に伴うマネジメント力向上研修会



文科省委託事業 別府市石垣小学校4年生対象、大学生による放課後学習支援活動



文科省委託事業
別府市石垣小学校4年生対象、大学生による放課後学習支援活動



文科省委託事業 学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証検証



文科省委託事業
学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証検
証



文科省委託事業

学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証検証



2泊3日「ふるさと体験学イン国東」:両子寺



2泊3日「ふるさと体験学イン国東」:文殊仙寺



人と本を結ぶ読書支援プロジェクト 「ゆい（結い）」



人と本を結ぶ読書支援プロジェクト 「ゆい（結い）」



人と本を結ぶ読書支援プロジェクト 「ゆい（結い）」



協育NEWS

「協育」という波紋を拡げます

会報誌第18号
2015年9月30日発行
発行：NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネットワーク

会員のみなさんへ 「協育」ネットの方向性を確認！

NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワーク

私たちの「協育」ネットも、園部前理事長を中心に、車に例えると「車庫を出て、通りを走り始めた」ところまで来ました。今回の役員改正で、新理事長を中心として「いかにして目的地まで順調に走っていくか」という時期になったと考えています。そのために、本会が、会員から求められ、会員を取り巻く周囲の方々から「いい会ですね！」と言われる「協育」ネットを目指すために、新理事体制が出来た今、会員みんなで本会の目的を再確認したいと思います

1. 「協育」ネットの柱
「教育の協働」(協育)を進めるのは一人では無理です。同じ思いを持つ仲間が「高まる」「繋がる」「広がる」ことがとても大切で、「協育」ネットはこの3つの柱を旨とした団体です。

2. 仲間が私を高める
アドバイザー養成講座の研修は、学びの入り口です。初めての出会いで仲間となり、意を1つにして活動することはなかなか難しいものです。本当に自分が高まり、自分の活動が子どもや地域を創っていくには、会員の情報の共有をおして、相互の協力や自分の活動に他の会員の手法を取り入れるなど、自らが努力し高まっていく必要があります。事務局は、そのために「会報」を定期的に発行し、3つの柱に向かってモデル的に行う「協育」ネットの活動とともに、会員の活動情報をお届けしています。1度学んだことが「どこでも」「誰にでも」通用しません。会員が学びと経験を重ね、会員自らが自分の周りの仲間を作り、それぞれの地域で活動を充実していくことを支援する「仲間」のNPO法人です。

3. 私たちへの「報酬」
仲間との学びを1つでも生かして、会員の方々が地域で行う活動が、子どもたちや地域の方々がこれまで出来なかった様々な学び、地域づくりの活動のネット「ワーク」化が進むことは素晴らしいことではないですか。そのためには私たちは皆さんの前にも出ることもありますが「黒子」になることもあります。主体は、会員自らではなく、会員の方々が行う活動に参加された人々です。参加された人々の笑顔と喜びが私たちへの「報酬」だという気持ちがとても重要です。このことが基本だと考えています。

求められるNPOになるためには
会員相互の信頼と協力が必要で、そのことにより期待される地域のリーダーとなっていくこともあるでしょう。注意したいことは、人や活動を非難して生まれるものは「後の後悔」です。人はそれぞれ、生まれや育ってきた環境の違いによって持っている考え方が違います。「違う」ということを前提で仲間として学び合い、地域の方々と交わり、認め合うことが大切です。特に、本会の中心となる私たち理事の意識の共有は不可欠ですので、互いに信頼して会員の方々の活動支援と、3つの柱に沿った事業に取り組んでいきます。

事業報告 人と本を結ぶ読書支援プロジェクト「ゆい(結い)」

理事 佐藤 真由美 (2期生)


学生読み聞かせグループ「ゆい(結い)」は、2012年に発足し、現在10名で活動しています。私は、2010年より学習ボランティアの一環として、読み聞かせの話をさせていただいておりますが、単位が取れた後も数人の学生さんたちが、ボランティアとして読み聞かせを続けてきました。4人の留学生在が日本語で絵本を読んでくれた年もありました。この会は、絵本大好き、子ども大好きな学生さんたちが立ち上げた会です。月に1度の勉強会では、絵本について語り合い、実演の報告をし、その経験を共有しながらお互いに高め合っています。大分市府内子どもルームは6年目。先日急遽、私が入ったら「次は学生さんが来てくれますか？」と男の子を連れて来たママに言われ、少し複雑な気分になりながらも語りたく嬉しくなりました。また、国東市富来小学校から、昨年に続き2年目の依頼を受けました。「読書バイキング」という形式で行われ、読み手としては自分の所に聞きに来てくれるかな～と不安になりますが、聞き手は自ら選んできてくれるので一生懸命聞いてくれます。さらに今年は、パークプレイス大分「あおぞら図書館」からの依頼もあり「びっくり!!」をテーマに1日2回の読み聞かせをしました。屋外の読み聞かせは、彼女たちにとって初めての経験でしたが、聞きに来てくれた人たちとしっかりとお話を楽しめていました。緊張してもいいはずなのに、素敵な笑顔で絵本を読んでいる学生さんたちにはいつも感心しています。これからも素晴らしい絵本と出会い、それを通じて出会った多くの人たちとの時間を大切にしたいと思っています。



(富来小学校) (校長先生と事前打ち合わせ) (富来小学校の皆さん) (方言のえほんの部屋)


会員さんの活動紹介 読み聞かせボランティア 読書バイキング

2015年度1回目の会員さん活動紹介は協育ネット 理事の佐藤真由美さんが主宰する「ゆい(結い)」の活動を取材してきました。結いは学生ボランティアの一環として読み聞かせをしています。今回は国東市の富来小学校PTAのお招きで2人の学生さんを連れての訪問！昨年に続き2回目だそうです。読書バイキングって何？って方にちょっと説明、今回は3つの教室にファンタジーのへや・方言絵本のへや・こわい話のへやを作ります。ここに 結いのメンバーがその内容の絵本を読んでもらいます。参加者は自分の聞きたい部屋に行ってお話を聞きます。およそ20分で10分の休憩と部屋の移動時間を取りますので皆さんは思い思いに移動して読み聞かせを楽しみます。富来小学校は保護者や学校が子ども達の読書に熱心に取り組んでいます。今回参加した子ども達は日曜日なのに80%の参加率です。私も久しぶりに本の読み聞かせを聞いて幸せな気持ちになりました。今回参加してくれた学生さん達にも後日参加した感想を頂きましたので掲載します。感想には取材には行けませんでした。パークプレイス大分「あおぞら図書館」での読み聞かせに参加した学生の感想もあわせて掲載しています。 会員の皆さんも読み聞かせ活動に参加してみませんか？ (広報部 上原)



大分大学 教育福祉科学部3年 田中 琴音

富来小学校の「読書バイキング」では私は「ファンタジー」を担当しました。子どもたちや保護者の方々真剣に聞いてくださる様子が伝わってきて、とても嬉しかったです。これまでは、赤ちゃんから3歳くらいのお子様しか読み聞かせをする機会がなかったのが、良い経験となりました。素敵な一日をありがとうございました。



大分大学 教育福祉科学部3年 坂本 花保里

富来小学校での読み聞かせで私は『怖い話』を担当しました。まず読書の段階で、どの程度まで怖くてもいいのかと悩みましたが、小学生が相手ということで、怖い話でも後味良く終わる話を選択して選びました。読みながらあまり怖くなかったかなと思いましたが、読み終わった後で「怖かったあ」と言ってくれたのでよかったです。




2015年9月6日(日)
パークプレイス大分「あおぞら図書館」での読み聞かせに参加して！

大分大学 工学部2年 高木 日名子


パークプレイス大分「あおぞら図書館」で読み聞かせをする機会を頂きました。野外で読むのは初めてでしたが、スタッフの方々のお陰でよい環境で楽しく読むことができました。来てくださった子どもさんをはじめ皆様、大変よく聴いて下さり、参加型の紙芝居では一緒に楽しんで下さったので、私もやりやすく楽しく読み聞かせをさせて頂きました。

大分大学 経済学部4年 外池 夏子

商業施設のイベントとしての読み聞かせは初めての経験でした。「どんな子がくるのだろうか？」と不安でしたが、いざ読み始めると子どもだけでなく、お父さんやお母さんも絵本の世界に引き込まれているのが分り、さらに絵本を通して親子の心が通じ合っているように感じました。私自身も幸せな気分になりました。




『子どもと本と私と・・・』 2015年9月27日(日)



理事 佐藤 真由美

9月27日13時より大分大学巨野原キャンパスにおいて、大学と共催による講演会を行いました。読み聞かせボランティアさんだけでなく、学校図書館支援員さん、公共図書館の司書さん、教育委員会の職員さんなど多くの参加をいただきました。講師の首藤富久恵氏には「子どもと本と私と・・・」と題しまして、御自身が子どもと本の時間について話してくれました。特に25年以上にわたって、九州ガオンセンター院内学級のお子さんたちにお話と本を届けられた経験談は、氏にとっても話されるのは今回が3回目という貴重な内容で、私たち子どもと本に向き合う時の姿勢を改めて考える機会を与えてくださいました。また、失敗談も惜しげもなくお話しください、これからの日々活動に大変参考になりました。「プットワーク研究会」の代表を務める首藤氏ですが、プットワークだけでなく、多方面における読書支援に取り組まれています。ストーリーテリングもその一つですが、今回講演の中で実演をしてくださいました。「お話を3つ聞くことができ、本当に楽しく癒されました」などの感想をたくさんいただいています。私どもの企画にたいしても「苦しくなくリラックスして聞けました。このような講演会が良いなあと思いました」など嬉しい感想もくださっています。

(首藤 富久恵先生の講演)




(参加者の質問)

事務局よりお知らせ 平成27年度大分大学高等教育開発センター「協育」アドバイザー養成講座[上級編]参加者募集中！

本研修は、県内外での「教育の協働」を推進・実践する先進地を視察し、地域づくりや青少年の健全育成に関する中心的指導者・コーディネーターとしての資質を向上させ、以て、「教育の協働」の推進に関するアドバイスの力量を高めていくことを目的としています。

主催 大分大学高等教育開発センター
期日 平成27年12月3～4日(木・金曜日)
9:00 大分大学発～(1泊2日)
17:00 大分大学着* 宿泊は奥阿蘇の宿「やまなみ」(申し込み締め切り10月14日)

詳しくは協育ネットHP
新着情報をご覧ください



https://kyouikunet.sakura.ne.jp/

ひとりじゃない

仲間がいる

真実の心。偽りや飾りのない心。誠意を尽くす。



今後の活動

計画的な取り組みを通して、次の2点を推進

①会員同士のネットワーク化

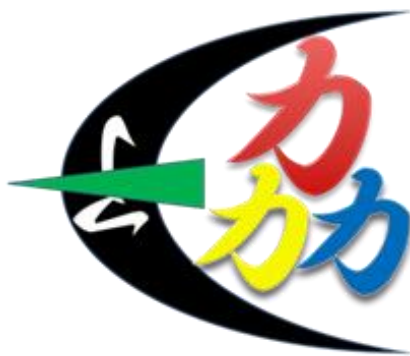
事務局と会員の連携に止まらず、会員が情報を共有することによって会員同士が連携、協力して活動を充実することを目指す。さらに、地域の仲間とのネットワーク化や活動の協働等も支援する。

②県・市町村教育委員会との連携、協力

県および市町村の取り組み情報や県内各地で行われている教育の協働に関する取り組みなどを一体的に整理し、県および市町村教育委員会と連携した各種研修への連携、協力を進める。

NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットは、県内の機関、企業、団体・グループを繋ぎ、家庭、学校、地域社会を繋ぐためのモデル的・先導的な取り組みを目指しています。多くの関係者の理解をいただき、それぞれの活動への情報提供や活動への協力をしつつ、教育の協働を進めるコーディネーターとして先導的に活動を推進していきます。

NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネットワーク



「協育」の「協」をイメージし、家庭、学校、地域社会の3つの力を十(合わせて)して、子どもたちを育む、願いを込めています。

また、左の「三日月」と「子(の逆さま)」は「育」を表しています。

それぞれの色は光の三原色、色の三原色をなし、さまざまな彩りをつくる可能性を示しています。

NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネットワークホームページ

ご清聴ありがとうございました。